

富山県水道ビジョン【概要版】

「富山県水道ビジョン」は、国が策定した「新水道ビジョン」に基づき、圏域ごとの諸課題や見通しを水道事業者等と検討・整理し、中長期的な視点で水道事業の将来のあり方を設定し、それを実現するための施策の方向性を示したものです。

【計画期間】令和8年度から令和17年度まで

現状評価と課題

富山県内の水道事業を評価した結果、以下の課題があります。

持続	① 適正な料金収入の確保(将来の給水収益の減少) ② 将来の水需要の減少に伴う施設利用率の低下 ③ 有収率の低下による収益の悪化 ④ 既存施設・設備の経年化及び更新率の低迷 ⑤ 職員数の減少に伴う技術的な知識・ノウハウの継承及び水道サービスの水準の維持
安全	⑥ 水質事故のリスク想定及び対応措置の検討(水安全計画の策定) ⑦ 水道事業における水質検査の適切な実施 ⑧ 簡易専用水道の定期検査の受検 ⑨ 小規模水道における衛生管理
強靱	⑩ 重要施設に接続する管路及び急所施設の耐震化 ⑪ 大規模地震や風水害などへ備えた危機管理体制の構築

関係者の役割

県、水道事業者等は、関係者間で連携を図りながら、ビジョンに掲げた施策を推進していきます。

県の役割	・「富山県水道ビジョン」を策定し、必要に応じて随時見直しを行う。 ・水道事業者等への国庫補助金等に関する助言や参考事例の情報提供、国への要望等を通じて水道事業者等が行う施策を推進する。 ・圏域ごとに広域連携の課題や具体的な取組内容等について助言を行うなど、水道事業者間の調整や支援を行い、富山県水道広域化推進プランを推進する。 ・水道事業者への立ち入り等を通じて、定期的に水安全計画、耐震化計画及び危機管理対策マニュアルの策定を促すとともに、クリプトスポリジウム対策の実施を促す。 ・県民全体を対象に、各水道事業者等の耐震化の進捗状況など、県全体の指標の情報発信を行う。
水道事業者等の役割	・事業の現状と課題を整理し、本ビジョンで掲げる目標や実現方を踏まえつつ、各事業における水道ビジョンの策定・見直しを行い、将来を見据えた戦略的な事業に取り組む。 ・近隣の水道事業者との広域連携を見据えた課題の共有、協議を進める。 ・民営事業者は、公営事業者との連携や将来的な統合も視野に入れた事業・施設のレベルの向上に努める。 ・所管の地域住民を対象に、水道料金や水質、施設の管理状況などの情報発信や説明を行う。
住民に期待する役割	・水道事業の顧客として、水道の現状や課題に対する理解を深め、県や水道事業者等が推進する取組みに協力するとともに、情報発信や説明が適切に行われているかを確認する。

フォローアップ 県は、5年を目安に施策の実施状況を確認し、目標達成状況の把握を行います。
 県は、進捗に課題が生じた場合は、水道事業者等との協議・調整を行いながら施策の推進を図ります。

